

子どもとのかかわり方(他児とのトラブルとしつけ)

ねらい	<ul style="list-style-type: none">● 子どもの育ちやかかわり方に関する情報や知識を提供することで、知識の不足や誤解から生じる子どもの育ちやしつけについての不安や疑問の解消を促す。● なぜいけないかを子どもが理解できるようにするには、子どもの気持ちを理解したうえでのかかわりが大切であることについて、気づきと理解を促す。● 参加者がそれぞれ抱える不安や悩みを語り、他の参加者や支援者がそれを聴き、共感し、語り合うことで参加者の不安や悩みを和らげる。● 参加者同士が活発に意見を交流できる場を設け、仲間づくりを援助する。
概要	<ul style="list-style-type: none">● みらい君ともえぎちゃんの乗り物を巡ってのトラブルを事例として、子どもの気持ちと親の思いについて考え、子どもの気持ちに向き合ったかかわり方を学んでいく内容となっている。
ポイント	<p>【話し合いのテーマ】</p> <ul style="list-style-type: none">● ワークシートを活用し、テーマを設定して参加者自身が考え、さらに、考えたことを参加者相互で話し合うことを促す。テーマについては、次のテーマの全部または一部を活用すること。◆ 子どもが約束ごとやルールを学びとって成長していく過程において、遊びや子ども同士のけんかなどの経験がどのような役割を果たしているか。◆ 社会のルールなど子どもにとって理解の難しいことを伝えようとするときに、大人はどのようにすることが望ましいのか。 <p>【提供する知識等】</p> <ul style="list-style-type: none">● 子どもの育ち、子どもへのかかわり方に関する次の知識や考え方の全部または一部を伝える。◆ 子どもは他児とのけんかなどのトラブルをとおして社会性や人とのかかわり方を身につけていくものである。◆ 子どもに社会のルールを教えたり、しつけをしようとするときは、大人が子どもの気持ちを理解したうえで伝えていくことが大切である。
事前の確認事項	<ul style="list-style-type: none">● 子どもとのかかわりについて振り返ることができるか。● 不安や悩みの解消、情報交換、学び、仲間づくりの場となるか。
準備物	<ul style="list-style-type: none">● 名前シール ● 付箋 ● 模造紙 ● サインペン等 ● 資料(P23, 24)

資料

■子どものけんかについて伝えたいポイント

子どもは、けんかの中から多くのことを学ぶ。自己表現や自己主張をすること、ぶつかる中でそれを乗り越え我慢したり、相手のことを考えたりすることなどを身につけていく。

*すぐには止めずに見守ることも、時には大切である。

*場合によっては、子どもの気持ちを伝え、また相手の気持ちを伝える場面も必要である。

*大人が、解決してしまわないようにする。

プログラム進行例

時間	展開	ポイント・留意点
	名札付け(各自記入)	<ul style="list-style-type: none"> ● 全員が名札をつける(親・子ども共) ● ニックネームでもOK ● 可能であれば、あらかじめグループ分けする
10分	あいさつ ワークの主旨説明 自己紹介 アイスブレイク	<ul style="list-style-type: none"> ● 今日のプログラムのねらいについてポイントをしぼりわかりやすく説明する ● 和やかな雰囲気づくりに配慮する ● 子どもが傍で遊んでいる時は動きが少ないアイスブレイクがよい
10分	ワークの導入 ● エピソードを読んで ペアトーク ● ワークシートの記入	<ul style="list-style-type: none"> ● ペアになり、みらい君やママの気持ちになって話し合ってもらう ● 相手の気持ちと自分の気持ちには往々にして違いがあるということに気づく
20分	グループワーク ● 自由に意見交換 ● 意見をまとめる	<ul style="list-style-type: none"> ● 参加者が話しやすい雰囲気をつくり、活発な話し合いの場になるよう努める(付箋と模造紙を使ったグループワークが効果的) ● 子ども同士のケンカに親がどうかかわれば良いか話し合う ● ルールやマナーなどしつけ等で困ったことを話し合う
15分	振り返り ● グループ発表 ● 意見交流	<ul style="list-style-type: none"> ● 各グループから発表する ● 意見を共有しあい、情報交換する ● 「そんなことまで…」と親によって「しつけ」に対する価値観に差があることに気づく ● 子どもの発達段階によって約束やルールを教えることも大切である
10分	まとめ ● 質問	<ul style="list-style-type: none"> ● まとめとして伝える(資料も参照) <ul style="list-style-type: none"> ・ なぜいけないかを子どもが理解できるようにするには、子どもの気持ちを理解したうえでのかかわりが大切である ・ けんかの場合は、時には、大人が、子どもに対してその子どもの気持ちを大人も分かっていることを伝えたり、大人が子どもの代わりにけんかの相手にその子の気持ちを伝えることが必要である ・ 子どもは、けんかの中から自己表現や自己主張をすること、ぶつかる中でそれを乗り越え我慢したり、相手のことを考えたりすることなどを身につける ● 近くに頼れる人のいない親に地域子育て支援ステーションや子育てサークルを紹介する ● 保健師、保育士、幼稚園教諭等の専門家のアドバイスを受けることができるよう、あらかじめ連携しておく ● 質問については丁寧に受け答えをするように心掛ける

■しつけについて伝えたいポイント

*子どもは、まわりの大人をよく見ている。

*親の姿を通して、親を真似ることで学ぶ。

*子どもをしつけるということでは、親の生活習慣も見直していくということも考える。